



2022年度

「基盤整備」事業報告書

2023年3月

一般社団法人 日本船舶品質管理協会

## 1. 事業目的

船用工業製品の品質の改善、及び品質管理の向上を図り、国の検査制度の円滑な運用に寄与するとともに、会員企業の発展に必要な事業を推進する。

## 2. 事業の内容（計画）

### 2. 1 品質管理調査研究事業

検査に係る国際的動向等を踏まえ、事業場の自主検査体制の合理化、品質の改善等に係る各種事業を実施し、関係先に対して意見交換、意見具申を行う。

### 2. 2 指導事業

船舶検査制度の適正、かつ円滑な運用に資するため、必要な指導や情報提供を行う。

### 2. 3 救命艇装置の安全性向上のための人材養成事業

講習会を開催し、救命艇装置整備技術者の養成、確保を図るとともに、研修会を開催し、整備技術者の技能の維持、向上を図る。

### 2. 4 相談事業

会員等からの各種相談に応じる。

## 3. 事業の実施結果及び成果

基盤整備事業は、当会の自己資金及び日本財団の助成金により実施する事業であつて、2022年度は、次のとおり4事業を実施した。

### 3. 1 品質管理調査研究事業

#### (1) 認定事業場の自主検査と検査制度に関する調査研究

実績なし。

#### (2) 船用品の品質改善・品質管理の向上に関する調査研究

実績なし。

#### (3) 新規認定物件に関する調査研究

新たに型式承認された物件を調査、整理し、「国土交通省型式承認物件一覧表」（2022年版）を作成し、会員、関係機関等に配付した。

### 3. 2 指導事業

#### (1) 製造認定事業場継続調査指導

船用機器等の製造認定事業場26事業場の継続指導を実施した。そのうち、13事業場については、製造に必要な施設や関係書類の継続調査指導に加え、当該事業場が認定を受けてから5年目に該当したため、更新申請のための指導、助言並びに関係書類の確認を行った。

また、更新に際しての現地審査の立会指導を17事業場について実施した。

#### (2) 船用品整備事業場巡回調査指導

膨脹式救命いかだ整備認定事業場の16事業場（2021年度延期分1事業場

含む) 及び GMDSS 救命設備整備証明事業場の 13 事業場の巡回指導を実施した。  
巡回調査の中で、整備に必要な施設、関係書類等について厳正な維持、管理に努めるよう指導するとともに、GMDSS 救命設備の整備に必要なシールドルームの電波漏洩状況を測定調査し、電波遮蔽状況が規定値内にあることを確認した。

(3) 新規に認定を希望する製造事業場への調査指導

製造認定事業場の認定を希望する 2 社について、認定に向けた調査、指導を実施している。

(4) 船用品整備情報の集中管理

全国の整備認定事業場で整備された膨脹式救命いかだ等の整備データ及び GMDSS 救命設備の整備データを集中管理し、整備事業者からの船舶に搭載されている膨脹式救命いかだ等の過去の整備記録の問合せに対応している。さらに、製造年月別の経年劣化の状況等必要な情報を把握して整備事業者を提供している。

2022 年(1 月～12 月)は、膨脹式救命いかだを 8,642 台、GMDSS 救命設備を 10,505 台の整備情報を入力した。2022 年度の整備事業場からの問合せは、900 件あり、情報提供を行った。

(5) 型式承認関係申請事務に関する指導

関係事業者からの型式承認物件の承認あるいは変更手続等に関する問合せに対応し、適宜指導を行った。

(6) GMDSS 救命設備積付け技術講習会・研修会の開催

GMDSS 救命設備積付け資格者を養成するため、新規資格取得者のための講習会を開催し、23 名が合格して新たに GMDSS 救命設備積付け資格者として認定された。

また、GMDSS 救命設備積付け資格者 66 名に対して、技能の維持、向上を図るための研修会を開催した。

[講習会]

実施日	場 所	実 施 内 容
2022. 11. 10(木)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者：30 名)	学科：①船舶安全法及び関係法令 ②積付け(積み降ろし) 要領と留意事項 実技：積付け、外観点検時の注意事項 技量認定試験：学科、実技

[研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
2022. 11. 11(金)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者 36名)	学科：①GMDSS 及び海上通信関連の最新動向 ②機器整備上の留意事項
2022. 12. 2(金)	新大阪丸ビル別館 (大阪市) (受講者 30名)	実技：積付け、外観点検時の注意事項

(7) 磁気コンパスアジャスタ整備技術講習会・研修会の開催

(一社) 日本コンパスアジャスタ協会と共催で、磁気コンパス整備技術者を養成するための講習会 (B講習会) を開催した。

また、コンパスアジャスタ (有資格者) の技能の維持、向上を図るための研修会を開催した。

[B講習会]

実施日	場 所	実 施 内 容
2022. 10. 31(月) ～ 2022. 11. 4(金)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者 12名)	[B講習会] 1. 自差修正理論及び自差修正 2. 傾船差理論及び傾斜差修正 3. 実技実習及び認定試験

[研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
2022. 7. 30(土) ～ 2022. 7. 31(日)	アルカス佐世保 (佐世保市) (受講者 20名)	1. 改訂した整備指導書による講義 及び JIS 規格の解説 2. 自差修正実務における対応の質疑応答
2022. 9. 3(土) ～ 2022. 9. 4(日)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者 16名)	1. 改訂した整備指導書による講義 及び JIS 規格の解説 2. 自差修正実務における対応の質疑応答

(8) イマーシオン・スーツ整備技術講習会・研修会の開催

イマーシオン・スーツの点検整備に精通した人材を育成するために、イマーシオン・スーツのメーカー3社と協力して、イマーシオン・スーツ整備技術講習会・研修会を開催した。

[イマーシオン・スーツ整備技術講習会]

実施日	場 所	実 施 内 容
2023. 1. 11 (水) ～ 2023. 1. 12 (木)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者：5名)	講義 1. 関係規則、整備要領 2. 構造材料等 実技 1. 点検整備 2. 気密試験 3. 補修 4. 着用実習

[イマーシオン・スーツ整備技術研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
2023. 1. 10 (火) ～ 2023. 1. 11 (水)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者：17名)	講義 1. 関係規則、整備要領 2. 構造材料等 実技
2023. 1. 11 (水) ～ 2023. 1. 12 (木)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者：16名)	1. 点検整備 2. 気密試験 3. 補修



学科講習



実技講習 (気密試験)

イマーシオン・スーツ整備技術講習会・研修会

(9) 膨脹式救命胴衣等整備技術講習会・研修会の開催

膨脹式救命胴衣等の点検整備を行う者の整備技術の向上を図るため、会員の膨脹式救命胴衣等及び部品の製造事業者9社と共同で講習会及び研修会を実施し、14名を新たに膨脹式救命胴衣等整備技術者として認定した。

また、整備技術者37名を対象に開催した膨脹式救命胴衣等整備技術研修会では、受講者全員の資格を更新し、初期の目的を達成することができた。

参加者が多数のため、2回に分けて実施した。

[膨脹式救命胴衣等整備技術講習会・研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
2023. 2. 14 (火) ～ 2023. 2. 15 (水)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者：講習9名、 研修20名)	講義 1. 関係規則、整備要領 2. 構造材料等
2023. 2. 15 (水) ～ 2023. 2. 16 (木)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者：講習5名、 研修17名)	実技 1. 点検整備、部品交換 2. 折畳み・収納



座学講義の様子



実技講習の様子

膨脹式救命胴衣等整備技術講習会・研修会

(10) 船舶用消防設備整備技術講習会・研修会の開催

船舶用消防設備の点検整備を行う技術者の養成を行うことを目的として、会員である船舶用消防設備（固定式炭酸ガス消火装置、固定式泡消火装置、固定式粉末消火装置、局所消火装置、火災探知装置、消火器及び個人装具）のメーカー8社と共同して「船舶用消防設備整備技術講習会・研修会」を開催した。

この講習会・研修会の結果、6名を新たに船舶用消防設備整備技術者（消火器・個人装具に係るもの）として認定、7名の資格を船舶用消防設備整備技術者（消火器・個人装具に係るもの）として更新した。

また、メーカー（7社）主催による講習会・研修会（固定式消火装置、火災探

知警報装置等に係る実技講習)は、参加希望者が少数のため、中止にした。

[船舶用消防設備整備技術 A 講習会 (学科講習及び消火器・個人装具コース実技講習)]

実施日	場 所	実 施 内 容
2022. 10. 13 (木)	東京海洋大学 越中島キャンパス 越中島会館 (東京都江東区) (受講者 6 名)	講義 1. 基礎知識、関係国際規則 2. 各装置の概要、構造等 実技 1. 各装置の点検整備要領 認定試験 1. 学科試験 2. 実技試験

[船舶用消防設備整備技術 A 研修会 (学科講習及び消火器・個人装具コース実技講習)]

実施日	場 所	実 施 内 容
2022. 10. 13 (木)	東京海洋大学 越中島キャンパス 越中島会館 (東京都江東区) (受講者 7 名)	講義 1. 基礎知識、関係国際規則 2. 各装置の概要、構造等 実技 1. 各装置の点検整備要領 認定試験 1. 学科試験 2. 実技試験



実技講習 (消火器)



実技講習 (個人装具)

船舶用消防設備整備技術 A 講習会・A 研修会

(11) ISO 関係業務等に関する指導

ISO 規格関連において、船舶に係る国際標準化等に関するアンケートを実施し、規

格改正等の実施テーマの要望を調査した。また、ISO 関連の規格改正（特に救命及び消防関係）の審議情報を関係者等に提供した。

(12) 品管時報及びSS ニュースの刊行

定期的な刊行物として、国際海事機関(IMO)の船用品等に関する技術要件改正作業の動向、国内関係法令の改正、通達等の内容、その他会員の参考となる各種情報を内容とする品管時報（6回）及びSS ニュース（2回）を発行した。

(13) ホームページによる情報提供

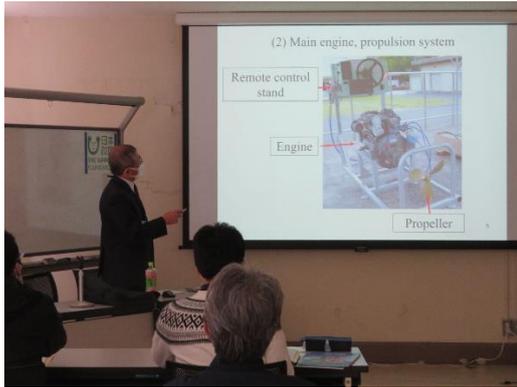
ホームページを適宜更新し、会員をはじめ多くの海事関係者に対して船用機器や船用品の製造・整備に関する各種情報を提供した。

3. 3 救命艇装置の安全性向上のための人材養成事業

SOLAS 条約の改正により有資格者による救命艇装置（救命艇及び進水装置）の年次点検等が義務付けられたことに対応するため、救命艇装置整備技術者を養成する「救命艇装置整備技術講習会」及び資格更新の「救命艇装置整備技術研修会」を開催した。なお、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、日本への渡航が困難な海外の受講者は、集合研修の形式を取らずに、インターネットを活用し、個別に技能評価ができる方式で研修を実施した。

[救命艇装置整備技術講習会]

実施日	場 所	実 施 内 容
2023. 3. 3(金) ～ 2023. 3. 9(木)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (海外/国内) (受講者 41名)	学科講習 1. 救命艇装置整備の背景、事故事例、関係規則 2. 救命艇の基礎知識、構造、操作要領、保守点検整備要領 3. 離脱装置の基礎知識、構造、操作要領、保守点検整備要領 4. 進水装置の基礎知識、構造、操作要領、保守点検整備要領 実技講習 1. 救命艇装置の操作、保守点検整備 2. 離脱装置の操作、保守点検解放整備 3. ボートウインチの保守点検解放整備 4. FRP 製救命艇の補修要領 技量認定試験 1. 学科試験      2. 実技試験



座学講習の様子



実技講習の様子

第 23 回救命艇装置整備技術講習会

[救命艇装置整備技術研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
2022. 8. 1(月) ～ 2022. 8. 3(水)	第 3 0 回研修会 (国内) (受講者 1 5 名)	学科講習 1. 救命艇関係の条約等の更新の最新情報 2. 救命艇装置の整備点検における問題点について 3. 進水装置の整備点検における問題点について 実技講習
2022. 8. 5(金) ～ 2022. 8. 12(金)	第 3 1 回研修会 (海外リモート) (受講者 5 8 名)	1. 離脱装置のトラブルシューティングと部品交換要領 2. ウィンチの不具合事例と各種部品交換要領 3. 救命艇・進水装置の保守点検時の不具合事例と対処要領
2023. 2. 28(火) ～ 2023. 3. 2(木)	第 3 2 回研修会 (海外、国内) (受講者 1 7 名)	技能評価 実技演習により、整備技量の低下がないことを評価する。 なお、リモート研修は、筆記試験及び整備実績により、整備技量の低下がないことを評価する。

3. 4 相談事業

検査制度及び品質管理全般について、会員あるいは一般からの相談、質問等を受け、適宜対応した。これらの各相談、質問等については、必要に応じ関係官庁、関係機関等と連絡を取りながら対応した。

### 3. 5 刊行物

2022年度の基盤整備事業に係る刊行物は、次のとおりである。

- (1) 品管時報（6回）
- (2) SS ニュース（2回）
- (3) 国土交通省型式承認物件一覧表